

河野 文昭(こうのふみあき)

- 兵庫県立神戸高校在学中にチェロを始め、1979年京都市立芸術大学音楽学部を卒業。
 - 第50回日本音楽コンクール第1位。
 - 1982年より文化庁在外派遣研修員としてロスアンジェルズに留学。翌年渡欧しウィーン国立音楽学校にても研鑽を積む。黒沼俊夫、ガボール・ライトー、アンドレ・ナヴァラ各氏に師事。
 - 84年帰国後は、各地でのリサイタル、オーケストラとの共演など独奏者として活躍。フィンランドの作曲家ヨーナス・コッコネンの「チェロ協奏曲」、イタリアの作曲家ルチアーノ・ベリオの無伴奏チェロ曲「セクエンツァXIV」などを日本初演する。
 - また室内楽奏者としても、以下のように国内外で精力的な演奏活動を行っている。
- 81年～94年、「福岡モーツァルトアンサンブル(弦楽四重奏)」に参加、モーツァルト、およびベートーヴェンの弦楽四重奏曲の全曲演奏を始めとした定期演奏会を九州各地で行った。「アンサンブル of トウキョウ」には85年の創立に参画、以後年4回の定期演奏会の他、89年のニューヨーク「バッハ・モーツァルトフェスティバル」参加、また92、95、99年にはドイツ、イタリア、フランスの諸都市で海外公演を行った。
- 「紀尾井シンフォニエッタ東京」にも95年の創立から参加、年5回の定期演奏会の他、2000年の欧州公演(オランダ、オーストリー)、05年のドイツ「ドレスデン音楽祭」、10年の韓国ソウル公演などの海外公演も行ってきた。
- 静岡音楽館(AOI)レジデンスカルテットには98年から参加、現代音楽を含めた意欲的なプログラムで年2回の演奏会を行う。
- また昨年よりメンバーとして活動を始めた「岡山潔弦楽四重奏団」は、年に2回の東京、名古屋での定期演奏会に加え、今年9月には「ヴェストファーレン音楽祭」に招待されるなどドイツ各地での演奏旅行も行っている。
- その他、93年～2003年大分県「ゆふいん音楽祭」の音楽監督を務めた他、別府アルゲリッチ音楽祭など各地の音楽祭にも参加している。
 - これまでに、1990年京都音楽賞、92年大阪府文化賞、2004年京都府文化賞功労賞などを受賞。
 - 現在、東京藝術大学教授、中国天津音楽学院客員教授。